

●異常を感じたら止める

なぜ？

機械の運転中にゴトゴト、キーキーと音が聞こえたり、ワラの巻き付きが気になります。「もう少しだから」、「ちょっとだけ」と思いがちですが、うっかり手を出して事故につながる可能性があります。

ヒヤリ、事故

1. コンバインで収穫作業中、稲の横搬送が悪くつまりが生じた。ワラを手で取り除いている時に刈取部が落下し、左足を挟んだ。エンジンを止めずにワラを除去したため、センサーに触れ機械が作動したと思われる。
2. 刈払機の刃先に草が絡みついた。足で取ろうとして地下足袋を切った。
3. 稲刈中、コンバインの前に回って稲わらを取ろうとしたところ、コンバインの下敷になりそうになった。

そこで…

対策ポイント

1. まず、エンジンを止めます。
2. 深呼吸して、冷静に対処を考えます。
3. 作業速度を下げたり、機械への供給量を減らしてみます。
4. 点検や詰まりの除去は、エンジンを止めたまま行います。



異常な音を聞いたらず、機械を止めましょう

さらに！

追加のヒント

1. 頻繁に詰まる場合には、機械を修理する等の対策を検討します。
2. 軸受け(ベアリング)への注油、軸に巻き付いたワラの除去等の整備は、作業前に実施します。
3. 余裕をもった作業計画を立てます。